

第50回 日本外来小児科学会 教育検討会 (Hybrid開催)

2025年9月28日 (日) 10:00 - 15:00

国立成育医療研究センター + オンライン配信 (Zoom使用)

<https://50kyouiku.peatix.com>

テーマ「小児総合診療 X 医療者教育学」

敬称略

担当委員挨拶 利根川尚也

シンポジウム 「小児総合診療と医療者教育」 10:05 - 11:30

利根川 尚也 (国立成育医療研究センター 教育研修室長)

高村 昭輝 (富山大学 医学教育学 教授)

本シンポジウムでは、現代日本における小児総合診療のあり方をテーマとし、小児科と成人総合診療科の視点から、理想の診療のモデル、それを実現する上での課題、担い手などについて検討する。さらに、小児総合診療を担う医療者の育成についても議論を展開する。高村昭輝先生による講演を踏まえ、参加者とともに多様な視点から意見を交換し、未来の方向性を模索する場としたい。

一般演題： 11:30 - 12:00

座長：島田 翔

「学生会員が3000人になれば日本外来小児科学会にパラダイムシフトがおこる」

「5年後の「こどもどこ」を考える」

岡本 茂 (洛和会音羽病院 小児科)

追加発言： 上垣怜央 (東京都立小児総合医療センター 総合診療科/元こどもどこ代表 2018)

12:00- 13:00 休憩 (昼食はセンター内のコンビニあるいは近郊の飲食店を利用)

教育部会 活動報告 13:00 - 14:00

座長：森田 潤

／生涯学習委員会

・生涯学習セミナー：奥 典宏

・自己学習プログラム検討会：長井健祐

+／教育検討会 画像ライブラリーWG：長井健祐／ (竹内孝仁)

／医学生・若手医師支援委員会 岡本 茂

医学生・初期研修医NW 西村瑠夏 (金沢医科大4年), 池田 明, 川島歩果 (横浜市立大5年)

医学生・研修医ネットワーク「こどもどこ」は、現在学生20名と研修医10名のスタッフで活動している。2025年度の活動として、現在までに、こどもどこOBOG会を5月に、第1回勉強会を7月に開催した。また、研修医スタッフが中心となり小児在宅医療勉強会を月に1回行い、意見の共有を行なっている。今後の計画として、第34回日本外来小児科学会年次集会において「多様な視点からVPDについて考えてみよう！」というテーマでセミナーを行う予定である。学生・研修医が「スタッフ全員で無理のない運営かつやりたいことをやる」という目標を掲げ、小児医療の学びを実現していく。

特別講演 14:00 - 15:00

座長：伊藤純子

「一般外来で小児心身症をどう捉え、どう診ていきますか？」

永井 章 (国立成育医療研究センター総合診療科)

心身症と診断することは、その患者をバイソサイコソシヤルの視点で診療する必要があることを意味する。一方では忙しい一般外来で心身症ケースの診療は、容易ではなく、また専門施設に紹介する場合などでの難しさもあろう。こうした中で、一般外来での小児心身症の診療では、ガイドラインを参照すること以外に、心身症診療の診療でのエッセンス、ピットフォールなどを理解、配慮して診療することが重要となる。今回の講演では、心身症の診療の総論的なお話に加えて、起立性調節障害、慢性頭痛などの診療での診療エッセンス、またピットフォールを提示して、小児心身症をどのように捉えて、診ていくといいのかの考察を行っていきたい。

その他 (事務連絡) - 15:15 終了予定

第50回 教育検討会 申込み (Peatix)

<締め切り **9月13日** (土) >

参加費：2,000円 (医学生・初期研修医は無料)

* クレジットカード/PayPay残高などによる支払いが可能です。
会員以外も参加可能です。医師・医学生が対象です。

- ・ 現地参加：40名 定員
／昼食はセンター内のコンビニあるいは近郊の飲食店をご利用ください／
- ・ オンライン参加 100名 定員 (オンデマンド配信はありません)

以下 URL (Peatix) よりお申し込みください。

<https://50kyouiku.peatix.com>

* ご自分のe-mailアドレスが必要です。
(本会の運営のみに使用します)

